



## 《 幹事報告 》 土屋一博 幹事

- ② 今期2回目の向陽高校への東南育英会奨学金を本日15:30に持参致します。  
参加者は小林会長・谷口青少年奉仕委員長、幹事の私3名です。
- ③ 11月1日(土)和歌山中RCとの親睦ゴルフ大会です。ご参加いただきます会員の皆様、よろしくお願いいたします。
- ④ 先週の例会で皆様のラックに「ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典」を入れさせていただきました。米山記念奨学事業や歴史について記載されております。皆様、ぜひご一読ください。
- ⑤ 2026年ロータリー国際大会 6月13日-17日台北(台湾)が開催されます。  
姉妹クラブの台北東南RCからも「2026年台北国際大会にて、台北でお会いしましょう！」との文書を4月にいただいております。  
今から出欠表を回覧いたします。皆様ご記入いただきますようお願い致します。

## 《 ニコニコ箱報告 》 寺下能明 副会計

小林君：IDMリーダー様 IDM班の発表をお願いします。  
保田君：週報にひさしぶりに写真を載せていただいた。  
坂本君：各班リーダーの皆様 IDM発表よろしくお願い致します。  
中君：IDM発表をさせていただきます。  
IDM C班：残金です。



## 《 55周年BOX 》

土屋君：主旨に賛同して。  
保田君：ちょっと寒くなってきましたね。  
保田君・辻本君・鯨君・岸君・坂本君：親睦会 残金。

## ♪ ソング斉唱 ♪

山田ソング委員長 「花になろう 鳥になろう」



## 「本日のビジター」

北崎様ようこそお越しくださいました♪  
例会 お楽しみください。



## 《 第2回 I.D.M.発表 》 ロータリー情報・規定委員会

テーマ「例会・各小委員会・クラブ内行事において、より出席率を高めるためには…」

A 班 リーダー 赤在依美 サブリーダー 登立健一 (発表者) 中曾真二郎



開催日：2025年10月15日(水)、

開催場所：小松原 博

出席者：竹中会員・中曾会員・寺下会員・坂本会員・登立会員・赤在(計6名)で開催致しました。

本日は赤在が出張のため例会欠席で、発表は中曾会員にお願い致しました。

今回第2回 IDM のテーマは、

「例会・各小委員会・クラブ内行事において、より出席率を高めるためには」でした。

【話し合いの内容・意見概要】

- 各小委員会やクラブ行事への参加率は比較的良好であるとの認識が共有されました。
- 一方で、例会への出席率がやや低下傾向にあることが課題として挙げられました。
- 出席率向上のためには、
  - 例会プログラムのさらなる充実
  - 和歌山東南ロータリークラブの魅力をより高め、参加意欲を喚起する工夫が重要であるとの意見が出されました。

また、例会運営においては、会員が「参加したくなる雰囲気づくり」や「各自の関心に沿った内容の企画」を検討することが有効ではないか、という提案もございました。

今後は、プログラム委員会を中心に多様な企画内容を検討して頂き、「例会の質と魅力の向上」が効果的であるという共通認識が得られました。

今後も、会員相互の交流を深めながら、楽しく意義のある例会づくりを進められたらと思います。

B 班 リーダー 岸 真寛 サブリーダー 中岡隆文



開催日：10月28日(火)

会 場：キッチンバーそごう(中華料理)

参加者：辻本会員・鯨会員・鯨坂会員・中岡会員・岸会員

今回は、鯨会員のご紹介で、和歌山市畑屋敷にある「キッチンバーそごう」にて、中華料理を楽しみながら開催いたしました。

全員が初めて訪れるお店で、「美味しい」と評判ではありましたが、皆様のお口に合うかどうか、少し心配しておりました。

しかしその心配とは裏腹に、どの料理も丁寧に作られており、紹興酒もすすみ、皆様から「とても美味しかった」との声をいただきました。

ぜひ皆様も一度訪れてみてください。

カウンター6席、奥に4~6名掛けのテーブルが1卓ある、こじんまりとした中華料理バーです。

2~4名程度での利用が最も適しているかと思えます。

今回のテーマは「出席率を高めるために何をすべきか」でした。

意見として、以下のような点が挙げられました。

- ゴルフ部の幹事を任されたことで、会員同士の関係が深まった。
- 会長や会場監督などの役割を経験することで、ロータリーへの理解とつながりが深まった。
- 地引網などのイベントに参加するうちに、クラブへの敷居が低く感じられるようになった。
- 勧誘いただいた親会員など、パイプの太いメンバーから定期的に声かけをいただくことが有効。
- 出席率100%を目指す例会を、半年に一度開催してみてもどうか。

また、坂本会員の総括では「55周年例会の成功に向けて、役割を持ち、共に取り組むことが、何よりの関係強化につながる」とのお言葉がありました。

55周年の節目を良い機会とし、会員一人ひとりが関わりを深めていければと思います。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

## C 班 リーダー 中 弘 サブリーダー 手拝誓哉



開催日・場所：10月24日(金)、「魚々家」

出席者：中谷会員、山田会員、塩崎会員、小林会員、山本会員、手拝会員、中の7名

与えられたテーマの出席率を向上させるには、やはり会員が「出席をしたい」あるいは「出席をしなければならぬ」と心の中で思うことが必要です。では、そのような心中の想いを動機づけるシチュエーションとはいったい何であるのかということ語り合った際に、本来欠席報告であったにも関わらず、IDM当日に敢えて出席してくれた中谷敬子会員から、自分のクラブ紹介者である竹中会員の姿を近頃見ないのがさみしいとの発言がありました。その言葉に私個人は入会時に気がつかなかったのですが、その後の年月の経過の中で「あの時は、やはりあの人のために」と想っていたのだと思うことの多いことに気づかされました。思わず「義理こそが大事だ」と乱暴な発言を吐いてしまったのですが、本当は義理を感じさせる人の徳を養ってくれるのがロータリーなのではないかと言いたかったのであり、当日、出席した会員の皆様の心中を共有した想いであったことを報告します。

## D 班 リーダー 平 平治 サブリーダー 太田豊隆



10月16日(木) 太田会員、吉田会員、土屋会員、谷口会員、薮下会員、平の6名でみむらで行いました。

美味しい料理とお酒の方に集中しての会合でしたが、楽しい雰囲気の中で有意義な時を過ごすことができました。

1. 会員獲得に当たっては、会員のグールドアップを計るためにも和大的の教員等の勧誘を行っていったら如何なものか。
2. 大胆な意見ではあったのですが、例会の場所を換えて昼間からお酒を飲める例会を設けてはどうか？
3. 会員卓話や参加している会員に発言する機会を増やし、人柄や性格等の理解を深めていったらどうか？
4. IDMの機会にはなるべく飲食を共にして、親睦を深める機会を多くしたらどうか？
5. 最後に前回のIDM発表時に提案させていただいた物故会員の資格に対して、早速理事会で検討していただき、結果をだしてもらいました。ありがとうございました。

## 第2回 IDM「総 評」 ロータリー情報・規定委員長 坂本武司



各班のリーダー並びにサブリーダーの皆様、発表ありがとうございました。

今回は「例会・各小委員会・クラブ内行事において、より出席率を高めるためには・・・」のテーマで開催させていただきました。

今回のテーマを選ばせていただいた目的は、最近の例会出席率の低下をどうにかして打開するにはどうすればよいかを考えていただければと思いました。そこで目前に控えています創立55周年記念式典には是が非でも出席率100%を達成すべく、クラブ

運営に不可欠なテーマで皆様の意見交換を行っていただきました。

各班リーダーを中心に真剣に意見交換が行われた様子がうかがわれ、そして親睦を深めながら東南ロータリークラブの伝統やこれまでの歴史を学ぶ場であったのではないのでしょうか。

今後のクラブ運営に活かせるような意見も多く上がっており、ロータリークラブ会員のあるべき姿を入会年数の浅い会員の皆様に理解していただく場になってれば幸いに思いました。